

●学校の概要

学校名	水戸看護専門学校		
認可	平成 20 年 3 月		
設置者	学校法人 八文字学園		
学校長	埜 富美子		
所在地	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-16-12		
電話	029-221-8800	F A X	029-221-8858
学校情報公開	URL : http://www.mito.ac.jp/		
総定員	120 名 (医療専門課程 120 名)		
設置学科	看護学科 (昼間 3 年)		
教育目標			
地域で活躍する看護職の育成に必要な豊かな人間性、創造性、協調性、実践力の専門性の習得と確立を教育目標とします。			
学校の特色			
水戸看護専門学校の主な特色は以下の通りです。 (1) 看護師国家資格の取得を支援する充実の教育体制 (2) 圧倒的に高い有効求人倍率と就職率・第 1 希望内定率 (3) 地域の中核病院等との連携を重視し、社会貢献できる学校づくり			
キャリア教育			
学校法人八文字学園の基本コンセプトである「人を育てる学園」に即して、「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「よりよいマナー」という 3 つの柱を掲げ、社会が求める人材教育を行います。そのために、地域と連携して看護実習、インターンシップ実習等を積極的に推し進め、資格を取得します。			

●教職員数

学校長	教員	講師	事務職員	計
1	17	20	18	56

●収容定員

学科	収容定員
看護学科（3年課程）	120

●学 費（1年次）

費目	看護学科 (3年課程)
入学金	150,000 円
実習費	190,000 円
施設設備費	200,000 円
授業料	630,000 円
その他	317,000 円
合計	1,487,000 円

●各学科の教育（看護学科）

<p>入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の意欲があり、看護学を学ぶために必要な基礎的学力を備えている 2. 学びを継続し、自身を向上させる努力ができる 3. 様々な人々と関わることができる基本的なコミュニケーション力を持ち、相手の気持ちや意見を尊重することができる 4. 看護職の資格取得への強い意志を持っている 	
<p>カリキュラム</p> <p>・科目編成及び授業時数 別表1（科目編成表）参照</p>	
<p>進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）</p>	
1. 成績評価	<p>成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、50点以上を合格とする素点による評価</p> <p>・A（80点以上） ・B（70点以上） ・C（60点以上） ・D（不合格）</p>
2. 進級要件	<p>学則施行細則第10条のとおり</p>
3. 卒業要件	<p>学則施行細則第11条のとおり</p>
<p>目標とする資格・検定試験</p> <p>・看護師（国家資格）</p>	

別表1 (科目編成表) 看護学科

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	論理的思考	3	1	30
		物理学	1	1	15
		情報科学と統計	3	1	30
		哲学	1	1	30
		倫理学	1	1	15
		心理学	2	1	30
		家族と社会	1	1	30
		教育学	1	1	30
		人間関係論Ⅰ (コミュニケーション)	1	1	30
		人間関係論Ⅱ (討議法)	2	1	15
		人間関係論Ⅲ (カウンセリング)	2	1	30
		健康と障がい	1	1	15
		臨床英語の基礎	3	1	30
		ビジネスマナー	1	1	15
	小計		14	345	
専門基礎分野	人体の構造と機能	生化学	1	1	30
		解剖生理学Ⅰ	1	1	30
		解剖生理学Ⅱ	1	1	30
		解剖生理学Ⅲ	1	1	30
		解剖生理学Ⅳ	1	1	15
	疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学の基礎	1	1	30
		微生物学	2	1	30
		栄養学	2	1	30
		疾病理解の看護学的視点	1	1	30
		病態生理学 (診断と治療・がんの診断と治療)	1	1	30
		臨床病態学Ⅰ (呼吸器、循環器疾患)	1	1	30
		臨床病態学Ⅱ (血液・造血器、消化器疾患)	1	1	15
		臨床病態学Ⅲ (腎・泌尿器、内分泌、皮膚疾患)	1	1	15
		臨床病態学Ⅳ (運動器疾患とリハビリ、眼科耳鼻科、脳神経疾患)	1	1	15
	臨床病態学Ⅴ (精神障害)	1	1	15	
	臨床病態学Ⅵ (小児・女性生殖器)	1	1	30	
	健康支援と社会保障制度	医療概論	1	1	15
		社会保障制度の基本と社会保険制度	3	1	15
		公衆衛生	3	1	30
		関係法規	3	1	30
		社会福祉Ⅰ (日本の保健医療福祉)	2	1	15
		社会福祉Ⅱ (日本の保健医療福祉の実際)	3	1	15
	小計		22	525	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	1	30
		共通基本技術 (コミュニケーション・記録・報告・観察・感染予防・指導技術)	1	1	30
		生活援助技術Ⅰ (環境・事故防止)	1	1	30
		生活援助技術Ⅱ (食事・排泄)	1	1	30
		生活援助技術Ⅲ (活動・休息・姿勢)	1	1	30
		生活援助技術Ⅳ (清潔・衣生活)	1	1	30
		診療援助技術Ⅰ (検査・診察・採血等)	1	1	30
		診療援助技術Ⅱ (与薬)	1	1	30
		臨床看護総論	1	1	30
		フィジカルアセスメント	1	1	30
		看護過程	1	1	30
	小計		11	330	

区分	教育内容	科目名	年次	単位	授業時数
専門分野	地域・在宅看護論	在宅看護論（概論）	2	1	15
		暮らしを支える看護Ⅰ（生活を支える看護）	2	1	30
		暮らしを支える看護Ⅱ（生活を支える地域包括ケアシステム）	2	1	15
		家族看護学	2	1	15
		在宅療養を支える看護Ⅰ（在宅看護技術）	2	1	30
		在宅療養を支える看護Ⅱ（看護過程）	2	1	30
	成人看護学	成人看護学概論	1	1	30
		成人看護学Ⅰ（急性期）	2	1	30
		成人看護学Ⅱ（周手術期）	2	1	30
		成人看護学Ⅲ（回復期・リハビリ期）	2	1	30
		成人看護学Ⅳ（慢性期）	2	1	30
		成人看護学Ⅴ（終末期）	2	1	30
	老年看護学	老年看護学概論	1	1	15
		老年看護学Ⅰ（高齢者の生活を整える看護）	2	1	30
		老年看護学Ⅱ（高齢者のヘルスアセスメント）	2	1	15
		老年看護学Ⅲ（高齢者への援助技術）	2	1	15
		老年看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	15
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	15
		小児看護学Ⅰ（健康障害をもつ小児の生活と看護）	2	1	30
		小児看護学Ⅱ（病児の看護）	2	1	30
		小児看護学Ⅲ（看護過程）	2	1	15
	母性看護学	母性看護学概論	2	1	15
		母性看護学Ⅰ（人間の性と生殖）	2	1	15
		母性看護学Ⅱ（マタニティサイクル）	2	1	30
		母性看護学Ⅲ（周産期の援助技術）	2	1	15
		母性看護学Ⅳ（看護過程）	2	1	15
	精神看護学	精神看護学概論	2	1	15
		精神看護学Ⅰ（精神の看護に共通する技術）	2	1	30
		精神看護学Ⅱ（精神障害のある対象の看護）	2	1	30
		精神看護学Ⅲ（看護過程）	2	1	15
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ（チーム医療と多職種連携）	3	1	15
		看護の統合と実践Ⅱ（看護研究）	3	1	30
		看護の統合と実践Ⅲ（看護技術の統合）	3	1	30
		看護の統合と実践Ⅳ（多重課題）	3	1	30
		看護マネジメント・医療安全	3	1	30
		災害看護と国際看護	3	1	30
小 計				36	840
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	40	
	基礎看護学実習Ⅱ	1	1	40	
	基礎看護学実習Ⅲ	1	2	80	
	基礎看護学実習Ⅳ	2	2	80	
	地域の実習	3	2	80	
	地域・在宅看護論実習	3	2	80	
	成人・老年看護学実習Ⅰ	2・3	2	80	
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2・3	2	80	
	老年看護学実習	2	1	40	
	小児看護学実習Ⅰ	2	1	40	
	小児看護学実習Ⅱ	3	1	40	
	母性看護学実習	3	2	80	
	精神看護学実習	3	2	80	

	看護の統合と実践実習	3	2	80
	小計		23	920
	合計		106	2960

●その他の教育活動

学校行事等	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習反省会、卒業研究発表会 ・学会参加 ・宣誓式（ナイチンゲールの誓い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院解剖見学（看護学科） ・研修旅行 ・やつロゲ（学外レクリエーション）
ボランティア活動等	
地域清掃活動（年3回）、献血活動（年2回） など	

●学生支援

<p>学生生活支援</p> <p>担任および副担任による生活指導の実施 担任および副担任による個別相談の対応 スクールカウンセリング など</p>
<p>経済的支援</p> <p>日本学生支援機構奨学金制度活用、看護師修学資金の促進 生活福祉資金貸付制度、母子・父子・寡婦福祉資金、国の教育ローンの紹介 特待生入学生制度（資格特待、学業特待、精勤特待）の整備 電車通学者に対する定期券半額負担制度、水戸駅から当校までのスクールバスの整備 学校近郊のアパート等の紹介制度 一人暮らし支援制度の整備（家賃一部負担） 学生支援センターの個別対応による経済的支援の実施（学費分納等） など</p>
<p>就職支援</p> <p>病院等を招いての合同就職説明会の実施 個別就職相談、個別面接指導、個別履歴書作成指導などの徹底した個別就職支援 など</p>
<p>その他の支援</p> <p>国家試験対策講座 ・1および2年生 年6回 ・3年生 年9回（既卒生は卒後2年まで受講可能） 国家試験のための定期模擬試験 ・1年生 年1回 ・2年生 年2回 ・3年生 年8回</p>